



# 広報せとうち 3

令和5年  
月号

絆で創る、魅力あふれる豊かな町づくり | みんなで早寝、早起き、ラジオ体操、朝ごはん！



## まちの人口と世帯 住民基本台帳 令和5年1月末

人口 | 合計  
8,413 人 (前月比: -29)

人口 | 男  
4,146 人 (前月比: -18)

人口 | 女  
4,267 人 (前月比: -11)

世帯数 | 合計  
5,156 世帯 (前月比: -14)



## もくじ —information—

- 02 | 「うえしょーろー」発売
- 03 | 瀬戸内町観光物産展 in 尼崎
- 04 | 3月のお知らせ「2023 奄美シーカヤック  
マラソン IN 加計呂麻大会参加者募集」ほか
- 21 | まちのできごと  
「古仁屋まちあるきモニターツアー」ほか
- 26 | 古高だより
- 27 | 戸籍の窓
- 27 | 3月休日当番医のお知らせ



# シマの食と文化を届ける 「うえしょーろー」発売

町役場保健福祉課 管理栄養士の

西田めぐみさんと田村夏海さんにお話を伺いました

私たちは、仕事を通して多くの方の食についてお聞きすることがあり、食の時代の流れを感じることもあります。おじいちゃん、おばあちゃんが日頃食べている食事（シマの食材を使う料理や行事食）を、今後シマの子どもたちは知る機会があるのだろうか？と考えることがありました。

そこで、「シマの食」を伝えていく機会をつくるのができたら…:と  
思い、「シマの食」についての話をインタビューし、まとめていくことを企画してみました。

感染症がある中で、インタビューにお答えいただいた皆さま、貴重なレシピを教えていただいた皆さま、人と人が直接関わるのが制限される中で、可能な限りお会いして、「食」と、その背景にある暮らしのお話を聞かせていただきました。皆さまのご協力をいただきましたことに、この場をお借りして感謝を申し上げます。

この「うえしょーろー」をきっかけに、身近にいる人生の先輩に、「食の思い出」を聞く機会をつくってみてはいかがでしょう。暮らしから生まれる知恵が、皆さまの今の暮らしのヒントになるかもしれません。

## どんな内容？ 少しだけお見せします！

昔から変わらない  
家族の健康と  
幸せを願う  
行事と食文化

行事食の一つひとつに  
詰まっている  
暮らしぶりと思いが  
見えてきます



1部は行事食  
2部は暮らしのご飯  
3部は管理栄養士の  
アレンジレシピ  
の、たっぷり3部構成

瀬戸内町の食に関わる  
団体の皆さまに  
レシピのお話を  
一つひとつ丁寧に  
教えていただきました

各ページには、料理の写真や  
材料・作り方だけでなく、  
行事の概要や習わし、食に  
まつわるエピソードなども掲載

じいじ、ばあばから  
聞き取りした  
そのままの言葉で紹介

## うえしょーろー

—せとうちのシマ飯— 初版 650冊

## 販売情報

- ・3月1日(水)販売開始、予約不要
- ・役場保健福祉課窓口または加計呂麻島のいっちゃんむん市場にて限定販売！！
- ・1冊1,500円(税込)のところ初版のみ1,000円(税込)で販売！
- ・購入冊数制限なし
- ・どなたでもご購入いただけます

- ・シマを離れていく子どもたちに
- ・シマに住んでいても、忙しくて行事食に関わる機会が少ない方に
- ・行事食とともに思い出を振り返りたい方に



# 奄美群島日本復帰 70 周年記念 瀬戸内町観光物産展 in 尼崎

2月11日(土)～12日(日) 3年ぶり、盛大に開催！

本町主催、関西瀬戸内会（山元弘次会長）共催にて行われた瀬戸内町観光物産展 in 尼崎は、天候にも恵まれ、多くの方で賑わいました。

奄美出身者が多くお住まいの尼崎市で毎年行ってきたこの物産展は、新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりの開催となりました。

各ブースには、ネクタイや名刺入れなどの紬製品、きび酢、テラダ・イラブチ・ソデイカなどの魚介類などが並び、2,000kg用意したたんかんは、完売しました。温かい魚汁や天ぷら、搾りたてのさとうきびジュースなども大好評でした。また、開催時間中は常にステージで島唄やよさこい、ゲストによるライブが行われ、会場を盛り上げていました。

ご来場いただきました皆さん、ありがとうございます。またお会いしましょう！



関西瀬戸内会さんが  
ホームページを  
開設されました！

瀬戸内町のイベント情報などを  
発信して下さっています。  
ホームページはこちらから

